

算数科 小学校 2年

単元名「ちがいをみて」

本時の流れ（第3時）

既習の学習の確認

本時のめあての把握

問題文を読み、2量の数量関係をつかむ

(例)「～は～より～こ 少ない」
→「～は～こ 少ない」

テープ図をかいて、交流する

自力解決する

【自力解決】

☆テープ図を見て数量関係をつかみ、どうなるのか考えさせる。

集団解決する

【集団解決】

☆演算決定した理由をテープ図を使って考え、自分の言葉を使って、説明させる。

適用問題をやる

【問題文】

赤組は95点です。赤組は白組より4点少ないそうです。
白組は 何点ですか。

学習のまとめ
振り返りをする

本時の目標

- 数量の関係を2段のテープ図に表すことができる。
- 2つの数量の違いに着目し、一方が少ないということは、他方が差の分だけ多いと考えて問題を解く。

【めあて】

・ちがいをみて、数をもとめましょう。

【めあての把握】

分かっていることときかれていることに、丸や線を引く。

【問題文】

けんたくんは、アメを24こもっています。けんたくんのアメはりえさんのアメより3こ少ないそうです。
りえさんのアメはなんこでしょう。



「活用」の力を育てる評価の工夫

本時は、この単元の3時間目である。本単元では、「問題の場面を、テープ図をかいて的確にとらえ、演算決定ができる」ことが目標である。特に、逆思考の問題を扱う。そこで、「～は、～より多い・少ない」という言い方を丁寧に扱い、どちらが多いのか・少ないのかを確認したうえで場面把握を行う。把握した内容を、適切にテープ図に表すことで自分の考えをまとめ演算決定につなげる。そこから「活用する力」を育成することを目標としている。

また、テープ図に表した考え方の理由や演算決定の理由について、自分で考える時間を確保することで、自分の言葉で説明する力を育成することも目標としている。

【学習のまとめ】

算数日記に、今日の授業で大切だったことを自分の言葉でまとめる。

授業展開例へ

評価問題

単元の流れへ

HOME